

グローバル経済と中小企業A		教授 星野 為國	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目	科目ナンバリング	23200209

1. 授業のねらい・概要

この講義において、日本におけるグローバリゼーションを分析する。経済的グローバリゼーション、IT革命の進展とともに、企業間競争は国際的な広がりをもって一層激化している。競争力の劣弱な企業が淘汰され、企業間分業関係は変化している。中小企業構造も変わりつつある。さらに、本講義では、企業間分業関係を階層性の視点から理論的に検討し、近年における企業間分業関係の変化と中小企業の構造変化そして競争のグローバル化と中小企業の技術戦略について考察する。

2. 授業の進め方

主として、テキストに従って講義形式で進める。授業中テキストにないテーマは、その都度補って行く。可能な限り、講義計画に基づいて授業を行うように努める。

受講生からの質問がある場合、随時回答するつもりである。受講生が授業内容を十分理解しているか否かを確認するために受講生に質問するケースもある。

3. 授業計画

1. グローバリゼーションの捉え方	9. 日本製造業の競争力構造と中小企業の技術的問題点
2. 日本企業の国際化	10. 転換を迫られる中小企業の技術戦略
3. 海外投資と貿易の融合	11. 地域経済と固有性
4. 東アジアにおける急激な資金フローの動因	12. 地域産業政策とは
5. 東アジア地域の資金流入と構造変化	13. 地域中小企業政策から地域産業政策への転換
6. 企業間分業関係の理論	14. 国際化第一段階と集積形成に見られる特質
7. 企業間分業関係と中小企業構造	15. グローバル化時代の地域産業政策
8. 日本製造業の国際競争力の低下とその要因	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

30分以上の予習と1時間以上の復習を必ずすること。指示された参考文献をよく読むこと。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

研究室において、各受講生に個人的に対応する。

6. 授業における学修の到達目標

グローバル化された経済社会において活躍できるようになること。

7. 成績評価の方法・基準

レポート・テスト（85%）および受講態度と参加活動状況（15%）等を総合的に判断して評価する。

8. テキスト・参考文献

（テキスト）内田勝敏編『グローバル経済と中小企業』世界思想社
（参考書） 講義中適時指示する。

9. 受講上の留意事項

授業への取り組み姿勢を重視する。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。